


「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	古井 麻美子 先生 (バイオリンの達人)
実施校	安城市立桜町小学校
実施日	平成21年1月26日(月曜日)
実施学級	5年1～4組(141人)
授業の実際	 <p>1 達人の紹介 2 達人の演奏を聴く エルガー/愛の挨拶 バッハ/ロンドー形式によるガボット ヴィヴァルディ/四季より冬第二楽章 ベートーヴェン/メヌエット 久石譲/もののけ姫 木村弓/いつも何度でも (休憩) バッハ/プレリュード バッハ/G線上のアリア、グノー/アヴェ・マリア 3 児童とのバイオリンの共演奏 バッハ/二つのヴァイオリンのための協奏曲 第一楽章 ビリーブ(バイオリンと5年生全員の合唱) (休憩) 4 達人へ質問し、感想文を書く</p>
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> 最後に、達人の先生のバイオリンと先生のピアノと5年生全員の歌声で、オーケストラみたいに「ビリーブ」をあわせることができうれしかったです。 「いつも何度でも」は、音が高くてバイオリンにふさわしいし、すごくきれいでした。達人の先生は、リズムに合わせて手や腕、体などを動かし、リズムをとっているんだと思いました。 友達と達人の先生が二人で弾いた曲が心に残りました。二つのバイオリンの音が重なっていて、とてもきれいだったからです。 バイオリンやピアノやみんなの声が一つになると、世界に一つしかない心のこもった曲になるので、音楽はすごくすばらしい大切な宝物だと思いました。
教師の感想	<p>バイオリンの生演奏を聴いたり、実物を見たりすることで弦楽器への理解が深まり、関心を高めることができた。また、学校職員や児童との共演、バイオリンと5年生全員の合唱等の活動を通し、音楽は言葉が通じなくても、気持ちを伝えたり通わせたりすることができるということを実感することができた。</p>